

犬の登録受付と狂犬病予防 集合注射を実施します

生後91日以上全ての犬は登録と、狂犬病予防注射を年に1度受けさせるように飼い主に義務づけられています。



もってくるもの

■登録済みの犬の場合

- ・予防注射通知はがき
- ・注射料と注射済票交付手数料 1頭あたり3,050円

■新規登録する犬の場合

- ・登録料 1頭あたり3,000円
- ・注射料と注射済票交付手数料 1頭あたり3,050円
- ・飼い主の氏名、住所、電話番号、犬の名前、種類、性別、毛の色を書いたメモ

狂犬病予防集合注射 日程

期 日	時 間	場 所
4月 15日(水)	9:00~10:00	納所会館
	10:30~11:30	南多久公民館
	14:00~15:00	東多久公民館
4月 16日(木)	10:00~11:30	母子健康センター
	13:30~14:30	筋原公民館
4月 18日(土)	9:30~11:30	母子健康センター
	13:30~15:00	東多久公民館
4月 25日(土)	9:00~10:00	多久公民館
	10:30~11:30	西多久公民館
	13:30~14:30	宮ノ浦公民館

上記日程で受けられない場合は動物病院で注射を受けてください。その際は、注射後病院で発行される「狂犬病予防注射済証」を持参し、下記係へ届け出てください。

■問い合わせ 市民生活課 生活環境係 ☎75-6117

環境と資源保護のため プラスチック製容器包装の分別 にご協力ください



多久市ではプラスチック製容器包装の分別収集を平成18年10月から試験的に行い、翌年7月から本格的に実施しています。みなさまのご協力により、徐々に回収量も増えてきています。

この「プラスチック製容器包装マーク」がついているものが、対象です。

回収後のプラスチック製容器包装は、(財)日本容器包装リサイクル協会に引き渡され、平成19~20年度は「ペレット」と呼ばれるプラスチック原料になり、その後に物流用パレット等に商品としてリサイクルされています。

分別収集による環境保護への効果は、平成19年度では71tのプラスチック製容器包装を焼却処分しなかったことで、191,345kg-CO₂/tの温室効果ガスを抑えることができました。これは、自動車でガソリンを約82,500ℓを使って排出する温室効果ガスの量に当たり、ガソリン1ℓで15km走る燃費の車では、1,237,500kmもの距離を走った場合に出る温室効果ガスの量になります。これは地球を約31周もする長さです。

また、焼却施設への効果を見てみると、市の清掃センターでは発電や熱の二次利用を行っておらず、焼却灰の溶融等も行っていない施設ですので、900度前後の燃焼温度で運転しています。この状態では重油などの補助燃料も使わず、効率的にゴミの焼却処分ができます。

もし、プラスチック類をゴミとして焼却すると、燃焼温度が上がりすぎるため、焼却炉に負担がかかり、劣化を早めてしまいます。

環境・資源と焼却施設の保護のため、ゴミを出すときには、プラスチック製容器包装の分別をお願いします。

■問い合わせ 市民生活課 生活環境係 ☎75-6117

■問い合わせ

総務部 経営統括室 企画経営係
☎75-2116



【田柄区 緑化推進コミュニティ】

平成18年の市道改良工事の折、区で用地を取得し、造成したコミュニティ広場に植樹・植栽を行い、区民による維持管理を行うことで、コミュニティ意識の醸成を図る事業です。

財団法人自治総合センターでは、宝くじの販売収益財源として、地域コミュニティの健全な発展と宝くじの普及・広報を行うため、コミュニティ助成事業を実施されています。平成20年度に多久市では、4つの団体が事業の採択を受けました。今回はこのうち南多久町田柄区を取り組みを紹介します。

コミュニティ 助成事業により 整備されました

